



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 健雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3110

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	32,576	△1.5	116	54.0	213	17.5	103	109.7
23年3月期第3四半期	33,058	△2.6	75	△45.8	182	△25.1	49	△59.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.58	—
23年3月期第3四半期	2.66	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	15,309	11,923	77.9
23年3月期	14,288	11,966	83.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,923百万円 23年3月期 11,966百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,200	△1.0	50	24.5	180	1.8	100	—	5.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	21,269,000 株	23年3月期	21,269,000 株
24年3月期3Q	2,669,204 株	23年3月期	2,667,919 株
24年3月期3Q	18,600,733 株	23年3月期3Q	18,602,572 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1.(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた動きとともに、徐々に景気の持ち直しの動きが見られたものの、欧州の財政不安による世界経済の減速、円高、株価低迷の長期化等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、震災により三陸方面からの入荷量が大幅に減少するなど集荷面で難しい対応となりました。販売面では、消費者の節約志向や低価格志向が一段と強まり、市場内外での販売競争の激化も加わって、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもとで、当社は、震災による業績への影響を最小限に止めるため集荷、販売活動を積極的に展開するとともに、企業体質の強化のための諸課題に全力で取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、飼料工場など工場部門が伸長しましたが、卸売部門が三陸方面からの入荷減もあって取扱数量が減少し、32,576百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。経常利益は、売上総利益率の改善と諸経費の削減により213百万円(前年同四半期比17.5%増)となりました。四半期純利益は、法人税率等の引き下げに関する法律が公布されたことによる法定実効税率の変更に伴う影響額28百万円を含む税金費用の増加はあるものの、103百万円(前年同四半期比109.7%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

(卸売部門)

冷凍魚が冷アカウオ、冷サバなどの取扱増と冷チリ銀サケ、冷ムキエビなどの原料販売の増加により増収となりましたが、鮮魚がブリ類の取扱増とウナギ、マグロ類などの魚価高による売上増はありましたが、ホタテ貝柱、サケ、カレイ、ヒラメなど三陸方面からの入荷減の影響が大きく、減収となり、塩干魚が時サケの不漁、塩数の子の価格安に加え、蒲鉾など純煉製品の取扱減により減収となり、売上高は30,870百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益は327百万円(前年同四半期比3.5%減)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料の韓国向け輸出が円高の影響で取扱減となりましたが、魚粉販売が水産向魚粉の委託加工の増加により増収となり、売上高は934百万円(前年同四半期比1.8%増)、営業利益は43百万円(前年同四半期比21.3%減)となりました。

(食品加工場部門)

原料販売の切りイカ、あられ類は値上げにより微増収となりましたが、いか製品のポット商品、ピロ商品が原料事情による取扱減などで減収となり、売上高は336百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業損失は28百万円(前年同四半期は営業損失は50百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

青果の順調な入庫と凍菜など外国貨物の取扱数量の増加に加え、寄託者による保管先分散の動きで寄託貨物が高水準となり、売上高は348百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は48百万円(前年同四半期比67.4%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は、86百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は43百万円(前年同四半期比14.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、15,309百万円となり、前事業年度末に比べ1,021百万円(7.1%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少657百万円、投資有価証券の減少197百万円、建物(純額)の減少71百万円などがありましたが、受取手形及び売掛金の増加1,439百万円、商品及び製品の増加220百万円、有価証券の増加200百万円、原材料及び貯蔵品の増加199百万円などによるものであります。

負債は、3,386百万円となり、前事業年度末に比べ1,063百万円(45.8%)増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加963百万円、受託販売未払金の増加95百万円などによるものであります。

純資産は、11,923百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円(0.4%)減少しました。これは主に、利益剰余金の減少44百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成23年11月10日発表の通期の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,518,067	2,860,243
受取手形及び売掛金	1,883,905	3,323,767
有価証券	2,900,000	3,100,000
商品及び製品	638,034	858,878
仕掛品	19,648	39,218
原材料及び貯蔵品	295,070	494,273
その他	156,018	59,074
貸倒引当金	△9,742	△18,243
流動資産合計	9,401,002	10,717,211
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,329,772	1,258,225
その他(純額)	810,364	789,569
有形固定資産合計	2,140,136	2,047,795
無形固定資産		
投資その他の資産	114,688	92,479
投資有価証券	1,855,246	1,657,622
その他	805,717	831,655
貸倒引当金	△28,163	△37,121
投資その他の資産合計	2,632,801	2,452,157
固定資産合計	4,887,627	4,592,432
資産合計	14,288,630	15,309,643
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,697	2,215,194
受託販売未払金	106,141	201,346
未払法人税等	6,206	4,647
賞与引当金	61,000	19,910
その他	174,851	207,317
流動負債合計	1,599,896	2,648,416
固定負債		
退職給付引当金	563,663	570,652
その他	159,066	167,152
固定負債合計	722,730	737,805
負債合計	2,322,627	3,386,221

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,342,597	1,342,597
利益剰余金	10,930,836	10,885,879
自己株式	△1,287,793	△1,288,069
株主資本合計	12,435,640	12,390,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△469,637	△466,985
評価・換算差額等合計	△469,637	△466,985
純資産合計	11,966,002	11,923,421
負債純資産合計	14,288,630	15,309,643

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	33,058,543	32,576,017
売上原価	31,489,663	31,012,158
売上総利益	1,568,880	1,563,859
販売費及び一般管理費	1,493,217	1,447,364
営業利益	75,662	116,495
営業外収益		
受取利息	13,023	11,808
受取配当金	46,279	47,052
受取手数料	30,143	27,976
その他	16,954	12,693
営業外収益合計	106,400	99,530
営業外費用		
雑損失	—	2,076
営業外費用合計	—	2,076
経常利益	182,063	213,949
特別利益		
固定資産売却益	555	—
特別利益合計	555	—
特別損失		
投資有価証券評価損	98,600	—
その他	2,570	—
特別損失合計	101,170	—
税引前四半期純利益	81,448	213,949
法人税、住民税及び事業税	2,997	3,148
法人税等調整額	28,931	106,950
法人税等合計	31,928	110,099
四半期純利益	49,519	103,850



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	31,377,773	917,096	340,164	339,385	84,123	33,058,543	—	33,058,543
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18,952	—	8,182	79,980	—	107,115	△107,115	—
計	31,396,726	917,096	348,346	419,365	84,123	33,165,659	△107,115	33,058,543
セグメント利益 又は損失(△)	339,101	55,576	△50,090	29,252	37,992	411,832	△336,169	75,662

(注) 1 セグメント利益の調整額△336,169千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	30,870,470	934,054	336,724	348,412	86,355	32,576,017	—	32,576,017
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,974	—	4,803	79,712	—	106,490	△106,490	—
計	30,892,444	934,054	341,528	428,124	86,355	32,682,507	△106,490	32,576,017
セグメント利益 又は損失(△)	327,184	43,729	△28,118	48,980	43,422	435,197	△318,702	116,495

(注) 1 セグメント利益の調整額△318,702千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。